

京都府・奈良県主催の「耐震フェア」に出展

～「地震保険クイズ」で地震保険を啓発～

日本損害保険協会近畿支部京都損保会（会長：岡田 淳・損害保険ジャパン株式会社 理事 京都支店長）と奈良損保会（会長：勝呂 薫・損害保険ジャパン株式会社 奈良支店長）は、8 月 13 日（木）にイオンモール高の原（京都府木津川市）で開催された京都府・奈良県主催の「耐震フェア」に初めて共催として参加し、ブース出展を行いました。

本フェアは、住宅耐震化の重要性について啓発するイベントで、京都府民・奈良県民が大地震に備えて我が家の安全性を見直すきっかけとすることを目的に開催されたものです。

当日はお盆休み中ということもあり、幅広い世代の人が多く来場し、直前に発生した熊本地震を受けて、近隣の活断層の地図に見入ったり、地震によって住宅模型が倒壊する様子を体験したりする等、熱心に各ブースを見て回っていました。

当協会のブースでは、地震保険の制度概要を解説したパネルを展示するとともに、来場者に「地震保険クイズ」に挑戦してもらい、地震保険は国と保険会社が共同で運営する公共性の高い保険で、地震リスクへの経済的な備えとして有効であることを訴えかけました。また、当協会の地震保険特設サイトの地震保険料シミュレーションを案内し、具体的な保険料をイメージしてもらいました。

来場者からは、「関西でもいつ大地震が起きてもおかしくないので地震保険は必要である。」「賃貸だから地震保険は関係ないと思っていた。」「地震保険についての理解が進んだ。」といった声があり、改めて地震への備えの一つとして地震保険を考えてもらう機会になりました。

京都損保会では 2021 年 11 月に京都府と「損害保険に関する防災連携協定」を締結しています。引き続き、京都府や奈良県とも連携して地域防災力の向上に取り組んでいきます。



出展ブースの様子



来場者に説明する様子



京都府「まゆまる」・奈良県「せんとかん」